



学校だより

令和元年10月31日
11月号
調布市立第一小学校
校長 川島 隆宏

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho/>

TEL042(481)7636

人との関わりの中で育つ子ども

校長 川島 隆宏

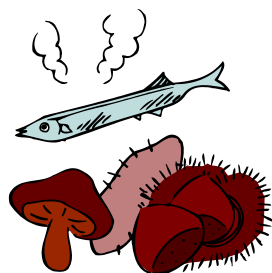
10月も終わり、紅葉のたよりが聞かれる季節となり、秋も本番を迎えようとしています。

秋と言えば「芸術の～、スポーツの～、読書の～」と、いろいろな秋がありますが、私には、何と言っても「食欲の秋」です。「松茸」「栗」「柿」「秋刀魚」・・・数えるときりがありません。

調布市にとって今年の秋は、「スポーツの秋」ではないでしょうか？ラグビーワールドカップの大会が開かれ、東京スタジアムや調布駅前のファンゾーンにはラグビーファンだけでなく、多くの人たちが各国のプレーに拍手を送っています。

また、10月26日（土）には、調布市小学生タグラグビー大会が、東京スタジアムの隣のグラウンドで開かれ、第一小学校からは「一小ラガーズ」が出場し、パスを繋ぐ連続攻撃で大活躍しました。チームで一つのボールを繋げていくという競技から、子どもたちは多くのことを学んだのではないかと思います。ラグビーに限らず、子どもたちには、様々なスポーツを通して心と体を鍛えていってほしいと願っています。

ところで、15年くらい前のことですが、生活指導関係の研修会で「近頃の子どもの世界に『サンマ』が少なくなった」という話を聞いたことがあります。『サンマ』とは、「秋刀魚」のことではなく、『三間』＝「時間・空間・仲間」のことです。友達と遊ぶ「時間」「遊び場」「仲間」が少なくなってきたために、友達とのコミュニケーションをうまく取ることができず、いじめや不登校等の子どもにまつわる様々な問題が発生しているとのことでした。



少子化や社会構造、働き方などの変化が子どもたちの生活スタイルに影響を及ぼすことは避けられないことですが、他人とコミュニケーションを上手に取ることは、時代の変化に関わらず必要です。ただ、これだけは、一長一短に身に付くものではなく、時には嫌なことや我慢しなければいけない経験もしながらから獲得していく力です。ネットを介した対戦ゲームでコミュニケーション力が付くかどうかは私には分かりませんが、少なくとも小学生の時代は、お互いの顔を見ながら、一緒に汗をかきながら活動することを通して、友達と一緒に物事を成し遂げる素晴らしさを経験してほしいと思っています。

11月22日には、3年に一度の「ひばり音楽祭」がグリーンホールで開催されます。市内小学校の中で、グリーンホールで音楽会ができる学校は第一小学校だけと聞いています。これから約1か月間、クラスや学年のみんなと力を合わせ、合唱や合奏に取り組んでいきます。それらの取組から、自分で努力することの大切さや友達と力を合わせて進めていくことの難しさ、素晴らしさを学び、本当の意味での「いい音楽を」創ってほしいと思っています。

これから練習が本格化していく中で、子どもたちが家で歌や楽器の練習をすることがあるかと思いますが、保護者の皆様には、耳を傾けていただき、励ましていただければ幸いです。



11月の生活目標 じょうぶな体になろう

気候の変化から体調を崩しやすい時期になってきました。風邪などに負けないじょうぶな体をつくっていききたいものです。自分の体について知り、じょうぶな体を作るために必要な運動・栄養・生活習慣などについても考えさせていきたいと思います。